

(京都技術士会2026総会資料- 1)

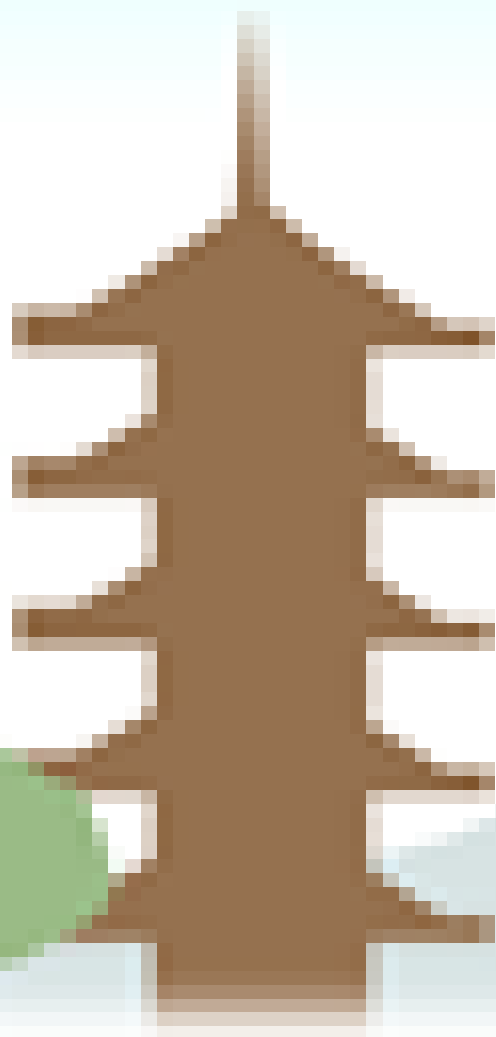
京都技術士会

2026年度総会

Rev.1 2026.05.13

日時：2026年5月16日 13:30～

場所：ひと・まち交流館京都 大会議室



2026年度 総会 議事

I. 2025年度 活動報告

II. 2025年度 会計報告

III. 全体の総括

IV. 2026年度 計画(案)審議：別資料

V. その他

【 I 】 2025年度 活動報告 議事

i. 活動方針

ii. 月例会

iii. 技術援助活動

iv. 理科支援活動

v. 大規模災害被災地復興支援活動

vi. 会員関連

i : 活動方針

従来通り、以下を基本として活動する

- ①会員の個性を重んじつつ
- ②その有機的なつながりを生かして
- ③技術士として社会的に何ができるかを念頭に置き

なお、新規な措置として

1. 例会はリアルを基本とするが、遠方会員等、例会に参加しにくい会員への配慮を検討する。⇒**3月例会WEB配信テスト実施**
2. 活動の円滑化、非収益事業の観点より、会計の方向性を検討する。
3. 災害支援に関しては、資金の余裕度を勘案し決定する。⇒**会計で**
なお、実施する場合は、能登半島地震義援金に代わり、**報告**
大船渡市森林火災見舞金を検討する。（過去2回RSTを実施）

ii : 月例会

開催日	場所	形態	概要	参加者
4月5日	ひと・まち交流館京都	講演会	「EVシフトの行方、EV化は天使か悪魔か？」 ～100年に一度の大変革期の渦中であって～」 講師:上川満 技術士（金属部門）	76
			「シニア転職のすすめ ～産学官 / 技術部門の場合～」 講師:穴山恭廣 技術士（経営工学部門）	
5月17日	ひと・まち交流館京都	講演会/総会	総会	66
			「工場排水の処理方法について」 講師:星邦明 修習技術者（上下水道部門）	
			「コロナ禍を経たITプロジェクトの変化」 講師:神原典広 技術士（経営工学部門、総合技術監理部門）	
6月21日	ひと・まち交流館京都	講演会	「これまでのプラント建設の仕事の概略紹介とこれから」 講師:野村尚之 技術士（機械部門）	73
			「戦後80年 昭和の愚かなる戦争と情報が、水力発電・技術士を生んだ四方山ばなし」 講師:奥村一 技術士（建設部門）	
7月19日	ひと・まち交流館京都	講演会	「GISネットワーク解析概論」 講師:天野貴文 技術士(情報工学、総合技術監理部門)	66
			「新商品開発を支えるデザインレビューの歴史と未来展望～顧客ニーズへの対応と競争力向上への貢献～」 講師:木村桂吾 技術士(経営工学部門)	
			「廃プラスチックリサイクルの実態；その表と裏 ～廃プラによる環境汚染の解決に向けて～」 講師:鍵谷司 技術士（衛生工学、建設、環境部門）	
8月	休会			

ii : 月例会

9月6日	京都市生涯学習総合センター （京都アスニー）	講演会	「水中用水処理機器について」 松本早登 技術士（機械部門）	62
			「レーザー核融合商用炉実現に向けたEX-Fusionの取り組み」 松尾一輝 博士（理学）	
			「2025大阪・関西万博と技術士会の万博への初の参画」 綾木光弘 技術士（森林部門、総合技術監理部門）	
10月18日	京都市生涯学習総合センター （京都アスニー）	講演会	「契約書に則して工事を進めることの重要性～山岳トンネル工事を例として～」 井上直樹 技術士（建設部門）、弁護士	56
			「コンサルタントとして、“二足のわらじ”でアタフタの巻」 二村光司 技術士（機械、総合技術監理部門）、工学博士	
			「社会を見つめ、かたちにする　―映画と技術にできること―」 岸本景子 映画監督	
11月15日	大飯発電所他	見学会	大飯発電所他	27
12月13日	京都市生涯学習総合センター （京都アスニー）	講演会	「労働者派遣法の害悪」 實原信昭 技術士補(経営工学部門)	70
			「日本企業のサプライチェーンマネジメント　― 現状とこれからを考える」 峯尾 啓司技術士（経営工学部門）	
			「技術経営の実践 -中小機械メーカーの企業内技術士の事例紹介」 山根哲男 技術士（経営工学部門）	
1 月	休会			

ii : 月例会

2月7日	京都市生涯学習総合センター (京都アスニー)	講演会	「インクジェットインク開発の経験と産業用への展開」 磯部浩三 技術士（化学部門）	61
			「日常・仕事に活かせる心理学」 小林知博 教授（神戸女学院大学心理学部）	
3月21日	ひと・まち交流館京都	講演会/RST報告	「エネルギー材料としてのケイ素」 和田仁 技術士（金属部門）	62
			「古くて新しい技術 EPMA(電子線マイクロアナライザ) ～ミクロ領域の元素分析の世界～」 田中宏 技術士（電気電子、応用理学部門）	
			「ビール醸造の歴史と昨今の消費者嗜好について」 徳田進 技術補（化学部門）	
			「2025年度こども理科実験教室の活動報告」 大西一市 技術士（化学部門）	

参加者年間合計 619

iii : 技術援助活動

A. 国のものづくり補助金応募資料の審査

- 京都府中小企業団体中央会より、令和元年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の書面審査員の依頼が継続し対応した。
- 本年度は第20～22次募集に対応した。
- 審査の概要は以下の通り
 - 第20次 令和7年 8月18日締め切り 審査員 6名 124件
 - 第21次 令和7年11月17日締め切り 審査員 4名 74件
 - 第22次 令和8年 2月25日締め切り 審査員 4名 72件

B.無料技術相談

- ・下記の通り。

相談日	相談者	相談内容	対応者
2025/4/5	小田技術士	マンションの管理に関して	大野技術士
2025/7/1	鹿児島県技術士会 齋藤理事様	京都技術士会ＨＰについて	田中宏技術士

iv : 理科支援活動

3) 理科支援活動

今年も、京都市、東近江市および向日市で理科実験教室を開催しました。京都教室では「ひろばでワークショップ」という新たな取り組みを始めましたが、短時間テーマを屋台形式で体験できる「ひろば」は大変好評でした。今後は内容や運営方法を見直し、より充実したプログラムを提供できるよう努めていきたいと思っています。また、東日本大震災復興支援活動としては、福島県いわき市で教室を開催しました。

さらに、2025年度は京都市近郊の亀岡市で理科実験教室を開催しました。今後新たな開催地も検討していきます。これらのチーム活動に加え、会員による多くの個別活動も行いました。

また、大阪市教育局主催の小学校理科特別授業にも講師として積極的に参加し、活発な活動ができました。講師による手作りの理科の実験や工作に取り組み、参加者の笑顔と歓声が忘れられない時間になりました。

3-1 子ども理科実験教室①（京都市教室）

(京都市教室1)

期日	会場	時間帯	コース	子供参加者数	講師名	タイトル
2025/ 7/26(土)	ひとまち交流館京都 第4・第5会議室	10:05~11:15	A	28	野田公彦	水とともだちになろう
		11:30~12:40		28	服巻博史	電球を作ろう
		13:45~14:55	B	18	萩原祥行	色と光のふしぎな関係
		15:10~16:20		18	大西一市	メロディカードのふしぎ
	ひとまち交流館京都 大会議室	10:05~11:05	C	19	伊藤玄	ぶんせきしてみよう
		11:20~12:20		19	和田仁	なげてつかまえよう、フーメラン
		13:45~14:45	D	14	和田信之	静電気と電気のふしぎ
		15:00~16:00		14	加藤直樹	あひるのがっしょう

(京都市教室2)

期日	会場	時間帯	コース	子供 参加者数	講師名	タイトル
2025/ 8/9 (土)	京都アスニー 第3研修室 (定員72名)	10:05～11:15	E	29	山本裕之	水のように動く砂
		11:30～12:40		29	竹内貞夫	センサーってなに？
		13:45～14:55	F	35	岡田雅信	エレベーターを動かす力
		15:10～16:20		35	二村光司	電子オルガンを作ろう
	京都アスニー 第2研修室	10:05～11:05	G	15	堤浩子	び生物ではっこうさせよう
		11:20～12:20		15	安田穂	オリジナルバッグをつくろう
		13:45～16:00	H ひろば	30	高見幸二	風船の中を走る1円玉
					堤浩子	LED折り紙
					和田仁	くうきってなんやろ？かんじてみよう
					青少年科学センター 辻礼史	びりびりびびび！かみなりのひみつ
桶屋眞士	ふしぎな三連振り子					

3-1 子ども理科実験教室②（東近江教室／向日市教室／亀岡教室）

（東近江教室）

期日	会場	時間帯	コース	子供参加者数	講師名	タイトル
2025/8/2（土）	西堀栄三郎記念 探検の殿堂	10:05～11:15	I	32	柴田 究	電気自動車をつくろう
		11:30～12:40		32	森啓 充	ものの周りの流れの力
		13:45～14:55	J	26	安井 研二	ミクロの世界を見てみよう
		15:10～16:20		26	森隆 司	レモンでみがこう

（向日市教室）

期日	会場	時間帯	コース	子供参加者数	講師名	タイトル
7/5（土）	永守重信市民会館 第1会議室予定	1テーマ 10:00～11:30	1回目	36	田中 宏	音と楽器の科学
7/12（土）		1テーマ 10:00～11:30	2回目	29	桶屋 眞士	タワシムシをつくろう！
8/2（土）		1テーマ 10:00～11:30	3回目	30	瀬戸山 英嗣	小さな電子オルゴールを作ろう
8/23（土）		1テーマ 10:00～11:30	4回目	36	和田 直之	天気がわかる不思議な結晶

（亀岡教室）

期日	会場	時間帯	コース	対象	子ども人数	講師名	タイトル
2025年 12月21日 （日）	ガリレアか めおか 研修室	10:05～11:15	A	全学年	37	加藤直樹	キラキラのステンドグラスをつくろう！
		11:30～12:40			37	安田 稔	オリジナルバッグをつくろう
		13:45～14:55	B	全学年	35	本谷 衛	実感！ せっけんのパワー
		15:10～16:20			35	大西一市	メロディカードのふしぎ

3-2 会員個別活動

大阪市理科特別授業

	1	2
講師	和田仁	和田仁
実験テーマ	あら不思議！アートに「てこ」のはたらきがかくれている	あら不思議！アートに「てこ」のはたらきがかくれている
実施日	2026年1月30日	2026年2月13日
実施学校名	大阪市立港晴小学校	大阪市立塚本小学校
対象学年	6年	6年
対象クラス	1	3
対象人数	26	95

その他会場

開催日	会場（イベント名）	テーマ	講師（技術士）	参加者数 （子ども）
11/8(土)	京都市青少年科学センター及び京エコロジーセンター （「青少年のための科学の祭典」京都大会） 主催：「青少年のための科学の祭典」 京都大会実行委員会	電気自動車って何 空気の働き 電気で動く不思議な磁石	柴田究 和田仁 田中宏	89人
11/9(日)		ゼロエネルギーハウス 色と光の不思議な関係 電気で動く不思議な磁石	加藤直樹 萩原祥行 田中宏	115人
11/22(土)	ガレリア亀岡（亀岡サイエンスフェスタ） 主催：亀岡市教育委員会	遠心力で遊ぼう	高見幸二 助手：加藤直樹	100人
3/7(土)	けいはんなプラザ （けいはんな科学体験フェスティバル2026） 主催：けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-SCAN）	電気自動車を走らせよう	柴田究	82人
		へんこうばんのふしぎ	伊藤玄	

V : 大規模災害被災地復興支援事業

A) 大船渡市森林火災見舞金
資金難のため、2025年度は見送った。

B) 東日本大震災復興支援活動 (RST)

東北教室は、東日本大震災からの復興支援として2012年から毎年開催しており、2025年のいわき教室で13回目となりました。日本技術士会福島県支部の皆さまには4年連続でご参画いただき、RSTとの連携も一層深まってきました。福島県支部長の小沼さんには、今年もすばらしいビデオ撮影集を作成していただきました。また、東北教室で長年お世話になっている会津坂下町の小林昭一さまへは、特製記念品(京福べこ三郎)をお渡しすることができました。このご縁を大切にしながら、今後も福島への継続的な支援を考えていきたいと思っています。スタッフはRST側8名、福島支部の皆さま13名で、延べ130名の多くの子どもたちに参加してもらいました。

プログラムおよびスタッフ名

日程	開催地	対象	コース	子ども参加数	時間帯	テーマ	講師	助手（敬省略）	
								RST	福島県支部
11/2 （日）	いわき市 生涯学習プラザ	1～6年生	A	31	10:10～ 11:20	キラキラのステンドグラスをつくろう	加藤 直樹	大西 一市 金田 隆文 長島 義明 人見 尚典 服巻 博史	安藤 和哉 荻原 有二 小沼 千香四 清水 泰彦 鶴原 敬久 中濱 早苗 畠 良一 人見 雅之 宮崎 典男 茂木 秀夫 吉野 敏治 和田 豊
					11:30～ 12:40	び生物ではっこうさせよう	堤 浩子		
			B	34	13:30～ 14:40	ダ・ヴィンチの橋をかけよう	佐々木 幸治		
					14:50～ 16:00	タワシムシをつくろう	桶屋 眞士		

教室風景写真

キラキラのステンドグラスを作ろう



び生物ではっこうさせよう



ダ・ヴィンチのはしをかけよう



タワシムシをつくろう！



vi : 会員関連

(永年会員の登録者) : **13**名 2026.05現在
竹内篤雄様 (応用理学) , 金子弘義様 (化学) ,
衣笠正興様 (機械) , 浅井純郎様 (経営工学) ,
奥村 一様 (建設) , 川嶋真生様 (電気電子) ,
森下雅雄様 (電気電子) , 野田公彦様 (化学、総監) ,
小寺宣一様 (化学、総監) , 小林茂雄 (化学) ,
下里吉計様 (機械) , 鈴木次郎様 (機械) ,
浅野昌也様 (化学、総監)

5) 会員消息

(2025年度入退会を含む。順不同)

◆入会者 3名

氏名	部門	氏名	部門	氏名	部門
齊藤秀哉	化学	太刀川祥平	化学	黒田考亮	機械

◆退会者 10名

氏名	部門	氏名	部門	氏名	部門
村山涼二*1	農業	丹生光雄	化学、総監	稲池稔弘	化学
進 博已	機械、総監、 経営工学	小田垣拓也	機械	山本篤史	建設
畑 浩二	電気電子	羽田一弘	特別会員	掛田健二*1	衛生工学
中井範一*2	衛生工学	棕田睦夫*2	特別会員		

注1: 逝去 注2: 自動退会

会員数 : 195名

【Ⅱ】会計報告

2025年度 京都技術士会 会計報告書

(自2025年4月1日至2026年3月31日)

(単位:円)

表1 収入の部			
科 目	予算額	決算額	備 考
会 費	935,000	925,000	会費額 201名(2025年3月13日現在)、延べ納入会費187名(過年度分含む) (納入免除:永年会員10名、1月以降入会者11、2年滞納4名、1年滞納10名)
入会金	25,000	20,000	入会者4名
RST事務経費:100	130,000	89,535	子ども理科実験教室(山本昭之氏:3992円)、前中宣氏(2400円)、高見中二氏(8192円、19500円)、RST(39450円)、黒澤高純氏(2750円)
紹介事務経費:100	145,000	256,566	京都府中央会補助会費(18名)
懇親会費用	0	14,731	11月新入生、例年前払いからの返金等
雑収入	10,000	211,949	貴社一応寄付(5,000)、野田公益財団寄付(5,000)、福井利子(1148円)、講演会費(9,000円)、一瀬氏寄付(10000円)、見学会参加費(16000円)他
収入小計(A)	1,245,000	1,517,781	
2023年度繰越金(B)	684,459	684,459	
合 計(A+B)	1,929,459	2,202,240	

表2 支出の部			
科 目	予算額	決算額	備 考
事務所経費	65,000	72,720	東山ロッカー2024年分(62,760円)人まち定額ロッカー使用料2025年度(3960円)
情報管理関係	25,000	41,355	プロバイダー年会費(21,976円)更新維持費(17380円)
事務処理費	70,000	70,000	会費(10,000円)、副会長3名分(30,000円)、RST代金(10,000円)、会計幹事(10,000円)、会計監査役(10,000円)
オフィス駐在費	0	0	東山50駐在費(土曜日 昼10名×3,000円/月)
通信費	20,000	15,037	電話代(携帯)、伝手代
固定費合計(C)	180,000	199,112	
例会関連費	950,000	1,263,098	
内訳			
講師費用	180,000	150,000	
例会幹事費	150,000	145,000	
事務印刷費	20,000	9,712	月例会の資料印刷費
会場費、マイク費	300,000	515,041	会場費、マイク費等(2025年11月分×9回)
例会補助費	300,000	443,345	懇親会補助(3、11、12、2月)、講師招待、見学会入会費用(225261円)
その他	0	0	
プロジェクト費	200,000	200,000	
子ども理科支援事業	200,000	200,000	福島県福島市教育関係補助
0	0	0	
総会事務局運営費	200,000	0	
交流費	2,000	12,000	会務者の会費で本会のPR(2000円)、懇親会2名参加(10000円)
雑費	98,000	22,259	
内訳			
事務用品費	1,000	110	文房具
パンフレット改訂費	9,000	5,155	
交通費	0	0	
その他雑費	88,000	16,994	振込手数料、病気見舞い11名(5392円)、小沢氏(8620円)
予備費	100,000	0	
変動費合計(D)	1,350,000	1,497,357	
支出合計(E=C+D)	1,530,000	1,696,469	
会計収支(A-E)	▲285,000	▲178,688	
2025年度繰越金(F)	399,459	505,771	繰越金推移:2011年168万円、2012年168万円、2013年137万円、2014年162万円、2015年173万円、2016年145万円、2017年102万円、2018年108万円、2019年104万円、2020年188万円、2021年168万円、2022年94万円、2023年90万円、2024年88万円、2025年10万円
合 計(E+F)	1,929,459	2,202,240	

表3 2026年度繰越金 明細

ゆうちょ銀行	505,771
現金	0
合 計	505,771

2026年4月1日

会 長 川端正輝
会 計 伊藤 玄
会 計 監 査 和田 仁

監査報告:

2025年度会計について証憑類と照らし監査いたしました結果、正確に処理かつ記載されていることを認めます。

2026年4月26日 監査役 和田



【Ⅲ】 全体の総括

【良かった点】

- ・幹事会の時間を充分確保し、情報交換、議論をしっかりとできた。
- ・パンフレットを更新した。
- ・名刺の雛形を作成し、積極的に活用して頂いた。

【今後の課題】

- ・50周年記念行事の予算確保の為、講演者の選定、例会補助に関して見直しが必要

Web配信テストに関しては、次ページに記載

■講演会のWeb配信テスト 実施報告

情報管理 田中

【目的】

・京都での講演会に参加できない、遠隔地に在住の会員に対し、少しでも活動に参加いただける機会を設けたい。そのための試験を行った。

【配信テストの実施】

- ・3月例会（3月21日）にて実施。オンライン参加者2名
- ・Z o o mにより、会場の音声、画面共有、会場映像を参加者に共有。
音声による質問も可能な状態だったが、質問は行われなかった。

【オンライン参加者からのフィードバック】

- ・画質・音声共に良好。資料共有に加え、会場のカメラ画像により、講師の表情・会場の雰囲気伝わりよかった。一部音声聞き取りづらい状況有。
 - ・参加できず残念に思うことが多々あり、参加できたので感謝している。
- ※参加者以外の遠隔地在住の方からも、参加したかった旨の連絡があった。

【課題】

- ・テストとしては成功だったが、画面共有、会場カメラ操作、参加者受付など運営側の負担が大きく、専任の配信担当者を複数配置することが必要。

**別資料 2026年度 計画(案)審議
(京都技術士会2026総会資料-2) に続く**